

平 1 9 年 度 企 画 事 業 実 施 報 告

- 1 事業名 「人生と生きがいを見つめるワークキャンプ」事前研修会
- 2 期 日 平成19年9月15日(土)～9月18日(月) 3泊4日
- 3 募集定員 10名
- 4 参加者 2名
- 5 参加者内訳 大学生2名(兵庫県1名, 沖縄県1名)
- 6 講師 兵頭正行(静岡県立朝霧野外活動センター)
- 7 実施プログラム

9月15日(土) 第1日目

- 13:30～14:00 集合・移動
- 14:00～14:30 はじめの会
- 14:30～16:00 活動準備
- 16:00～18:00 夕食準備・夕食・片付け
- 20:30～22:00 ワークキャンプに向けて (講話)

9月16日(日) 第2日目

- 7:00～7:20 朝のつどい
- 7:20～8:20 朝食, 昼食準備・朝食
- 8:45～11:30 ワークキャンプに向けて (周辺散策)
- 11:45～13:00 昼食
- 13:30～15:15 ワークキャンプに向けて (選択プログラム下見)
- 16:35～18:15 夕食準備・夕食
- 19:15～22:00 ミーティング

9月17日(月) 第3日目

- 7:00～7:20 朝のつどい
- 7:20～8:30 朝食, 昼食準備・朝食
- 9:00～12:45 ワークキャンプに向けて (チャレンジプログラム下見)
- 12:45～13:30 昼食
- 14:00～15:00 ワークキャンプに向けて (館内清掃)
- 15:00～16:00 ワークキャンプに向けて (選択プログラム下見)
- 16:30～18:30 夕食準備・夕食
- 19:30～21:00 ミーティング

9月18日(火) 第4日目

- 7:00～7:20 朝のつどい
- 7:20～8:30 朝食, 昼食準備・朝食
- 9:00～12:00 ワークキャンプ受け入れ準備

8 プログラムの内容

- (1) はじめの会
活動準備
自己紹介の後, 今回の事前研修の目的やスタンス, 活動場所の確認を行った。
- (2) 食事準備
食事準備を兼ね, 本キャンプに向けての調理室の使い勝手や, 備品等の確認を目的として, 事前研修時から毎日3食を自炊した。
- (3) ワークキャンプ
に向けて
今回の事前研修会の目的の再確認を行い, 本キャンプへ向けての心構えを講師より説明を受けた。

本キャンプで実施予定の選択プログラム（サイクリング・釣り・海遊び）と，チャレンジプログラム（20km踏破）の内容やコースの確認，安全面の確保，興味を引くプログラム構成の検討等のため，下見を行った。

拠点となる伊加利公民館の使用部屋の備品確認と簡単な清掃を行った。

(4)ミーティング 一日の活動（下見）を通して考えられる，改善点や注意点などを出し合い，本キャンプがより良いものになるよう意見を交した。

- 9 広報の方法
- ・ 近畿・中国・四国地方のフリースクールや民間の支援施設等に，本キャンプ参加募集も兼ねて開催要項を送付した。また，近府県教育委員会・教育系大学へも開催要項を送付した。当所ホームページにも掲載した。
 - ・ 新聞などのマスコミにも今回の事業を採り上げていただき，大きな広報となった。
- 10 担当者所見
- ・ 募集広報が遅れたため，参加者の申込みが少なかった。広報先の絞り込みや，早めの広報，日々の研修支援事業も含めて，関係機関に対する十分に情報収集をした上での継続的な広報が必要だと考える。
 - ・ 講師のスケジュールの都合で講師が1名となり，期間中の該当講師の負担が大きくなったようである。今後は，もう少しゆとりのある日程構成と，講師のスケジュールをもふまえた活動計画を作成しなければならないと感じた。
 - ・ 参加者にとっては，本キャンプにおいて，ただ単に計画されたプログラムをこなすことが大切ではなく，実施されるプログラムの内容，プログラム構成などの準備段階の重要性が理解できたようであり，事前研修の中での，指導者養成という目的を達成できたと思う。